

&lt;報道関係各位&gt;

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

「自然と共生する世界」の実現にビジネスから貢献  
**19施設を「いきもの共生事業所<sup>®</sup>※」に認証、**  
**7施設が「いきもの共生事業所<sup>®</sup>」の認証を更新**  
 三菱地所レジデンス、野村不動産、大日本印刷らが新規取得

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が運営する「いきもの共生事業所<sup>®</sup>認証(通称:ABINC:エイピング)認証制度」では、このたび、**生物多様性保全に取り組む工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅等の19施設を新たに「いきもの共生事業所<sup>®</sup>」として認証いたしました。**また今回の更新申請(認証期間3年)によって、**7施設が認証を更新しました。**今回の認証を含め、**認証件数は64件**となりました。

本認証制度は、一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB<sup>※</sup>)が開発した「いきもの共生事業所<sup>®</sup>推進ガイドライン」を評価基準とした第三者認証であり、今回が第5回目の認証となります。本ガイドラインは、生物多様性国家戦略 2012-2020において、事業者が生物多様性に配慮した社有地の管理をすすめるための方策として紹介されており、多くの企業がこれを参考に取り組みを始めています。

今後、工場等を評価する「既存版」、都市再開発やショッピングセンター向けの「都市・SC(ショッピングセンター)版」、集合住宅向けの「集合住宅版」と幅広い施設用途に合わせた第三者認証制度を実施してまいります。また今年度は新たに、物流施設や戸建住宅団地を評価する、戸建住宅団地版および物流施設版によるトライアル認証も開始されました。(物流施設版、戸建住宅団地版の認証取得については別途発表予定)、認証または認証更新された施設は以下の通りです。(認証番号順)

【新規】認証施設 名称	主用途	事業者	施設住所
凸版印刷株式会社 総合研究所	工場	凸版印刷	埼玉県北葛飾郡
長谷工エテックセンター	工場	長谷工コーポレーション	東京都多摩市
三鷹市計画	集合住宅	野村不動産 日清紡ホールディングス	東京都三鷹市
(仮称) 名古屋市西区則武新町3丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス 三菱商事	愛知県名古屋市
(仮称) 福岡市中央区地行浜2丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス 積水ハウス 西日本鉄道	福岡県福岡市
エコアイディア工場びわ湖 「共存の森」	工場	パナソニック	滋賀県草津市
プレミスト有明ガーデンズ	集合住宅	大和ハウス工業	東京都江東区
日野市計画	集合住宅	野村不動産	東京都日野市
武蔵小金井駅南口第2地区第一種市街地再開発事業	集合住宅	武蔵小金井駅南口第2地区市街地再開発組合 野村不動産	東京都小金井市
(仮称) 西宮市仁川計画 新築工事	集合住宅	総合地所 関電不動産開発 山陽電気鉄道	兵庫県西宮市・ 宝塚市
横浜ゴム株式会社 尾道工場	工場	横浜ゴム	広島県尾道市
花王株式会社 川崎工場	工場	花王	神奈川県川崎市

イオンモール松本	SC	イオンモール	長野県松本市
(仮称) ライオンズ鶴瀬	集合住宅	大京 穴吹工務店	埼玉県富士見市
大日本印刷株式会社 市谷の杜	オフィス	大日本印刷	東京都新宿区
ライオンズ守山マークヒルズ	集合住宅	大京 菱重プロパティーズ	愛知県名古屋市
(仮称) 鎌倉市岩瀬 1 丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス	神奈川県鎌倉市
ザ・パークハウス 和光市	集合住宅	三菱地所レジデンス	埼玉県和光市
(仮称) エスロジ新座 W棟	物流	清水建設	埼玉県新座市

【更新】 認証施設 名称	主用途	事業者	施設住所
盛岡セイコー工業株式会社	工場	セイコーインスツル	岩手県岩手郡
株式会社トッパンパッケージプロダクツ 深谷工場	工場	凸版印刷	埼玉県深谷市
J X T G エネルギー株式会社 知多製造所	工場	J X T G エネルギー	愛知県知多市
花王株式会社 鹿島工場	工場	花王	茨城県神栖市
清水建設株式会社 技術研究所	工場	清水建設	東京都江東区
イオンモール多摩平の森	SC	イオンモール	東京都日野市
飯野ビルディング	SC	飯野海運	東京都千代田区

※ いきもの共生事業所®はJBIBの登録商標です

※ ビジネスによる生物多様性保全において先進的、積極的な取り組みを進める企業の集まりです。

認証書のロゴ

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会では、今回申請いただいた施設の取り組みを活用し、認証制度の進化に取り組みます。また、今後、ガイドライン及び認証制度の普及・啓発を担う人材の育成に力を入れ、さらに認証の適用範囲を、工場、物流施設、集合住宅、戸建住宅団地、公共施設等に拡大していくことによって、自然や地域共同体と共生する土地利用に取り組みやすい世界の実現に貢献して参ります。



**ABINC**  
Association for Business Innovation  
in harmony with Nature and Community

#### 【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきもの人と人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。

**【団体概要】**

- 名称: 一般社団法人いきもの共生事業推進協議会  
[英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community  
= 略称ABINC(エイビंक)]
- 設立: 2013年12月25日    ■ 連絡先: [info@abinc.or.jp](mailto:info@abinc.or.jp)    ■ ホームページ: <http://www.abinc.or.jp/>
- 理事: 中静 透    (東北大学大学院生命科学研究科教授) <代表理事>  
    亀山 章    (公益財団法人日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授)  
    森本 幸裕    (京都学園大学教授、京都大学名誉教授)  
    黒田 大三郎(公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー)  
    足立 直樹    (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ事務局長)  
    原口 真    (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ顧問)
- 監事: 梶谷 修    (一般社団法人日本環境アセスメント協会会長)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 担当: 安齊(アンザイ) / 宇野澤(ウノサワ)  
※事務局業務取扱い受託 株式会社インターリスク総研  
e-mail : [info@abinc.or.jp](mailto:info@abinc.or.jp)    TEL: 070-6457-2261